

うし お たか こ
牛尾 誉子さん(47歳)

営農地:福岡市西区
主な農産物:米(夢つくし、ヒノヒカリ、
元気つくし)、ブドウ(巨峰)、
野菜(施設、露地) 約40品目



まわりの「元気」が私の元気



● 就農のきっかけ

農業は子育てと両立できる職業

小さい頃から、実家の農業を手伝っていた牛尾さん。看護学校を卒業後、看護師として福岡市内で働いていましたが、結婚する時にはできれば田舎で、子どもの成長を見守りながら仕事ができる農家の人と結婚したいと思っていました。そんな時に、専業農家として頑張っている夫と知り合い結婚しました。

結婚してから、下の子どもがある程度大きくなるまでの10年は、子育てが主だったとのことですが、今は出荷部門をメインに頑張っています。

● 私の今～就農後の道のり～

家族の個性を生かして

結婚当時は近くの県道沿いに個人の直売施設を開設し、店番を家族で行っていました。消費者とのふれあいは楽しかったのですが、子どもが成長するにつれ土日の用事が増えたため、現在は直売所を止め、生協やスーパーなどへの直売に力を入れています。

「父は毎日、コツコツと地道に農作業を行い、夫はいろいろと計画を考えることが好きで、今のように多角的に直売を行うようになったのも夫の企画です。母や私は出荷の準備を主に行い、それぞれが違ったことをやりながらも、得意な部分を活かしながら、一つの経営体として発展していくことはとても面白いことだと思います。」とそれぞれの個性を活かした仕事のスタイルが現在の経営につながっています。直売のためにいろいろな品目(約40種類)を作っているのですが、苦勞も多いようですがよくできたときはとてもうれしいと話されていました。

● これからの夢、目標

消費者が見える農業

「季節に合った旬のおいしい野菜を届けたい。『野菜の味がおいしい』との声を聞くのがとてもうれしいので、これからも消費者が見える直売を行っていききたい」とのことでした。

子どもが3人いるので、農業に興味をもって意欲的に誰か一人でも就農してくれる日を楽しみにしているそうです。



プロフィール

- 家族構成 / 本人、父、母、夫、子3人
- 営農年数 / 約22年
- 耕作(経営)面積 / 4.54ha
- 販路 / グリーンコープ、スーパー、直売、市場

就農を考えている女性へ ♡

農業は仕事としては面白いですが、何もないところから(新規に参入して)始めるのはとても大変と思います。そんなに儲かる産業ではないので、アイデアを働かせ、いろいろな仲間を作り、自分の生活ができるように堅実な計画を立てることが重要です。